

留学先：The University of Findlay

氏名：本田 涼哉

2月に入り、残りの留学日数の少なさを実感しながら日々を大切に過ごすように心がけています。同時に、いずれはフィンドレーを去るということを考えると寂しさもこみ上げて来てしまいます。フィンドレーでの友人や先生方との関係をこれからも大切にしながら、学びを続けていきたいと思っています。

◎AMU (Alumni Memorial Union)

AMUは大学内にある施設で、様々な目的で使用する場所となっています。多くのイベントがこの場所で開催され、多くの学生がこのAMUで勉強に励んでいます。非常に静かな空間であると同時に、友達と一緒に勉強することも多いため、私のお気に入りの勉強スペースとなっています。



◎Ethnicity

今学期に受講している授業の中でもお気に入りの授業が Ethnicity の授業です。その名の通り、「民族多様性」に焦点を向けた授業で、文化とは何か、人種とは何かを考えていく授業です。時折、他国からのゲストを招いたり、大学内の国際関係の事務職に就いている方から、人種についてのプレゼンテーションを聴講したり、教科書の読み込みに執着せず、「人」を学んでいく授業です。クラスにいる日本人は私だけで、毎回の授業に先生が、グループディスカッションが取り入れてくださるため、常にネイティブスピーカーと英語を話せる機会があり、自分の英語の伸長にも最適な授業です。また、日本の文化についてクラスの中で発言する機会が多いため、自国の文化を省察する機会が非常に多いです。自分の文化と他国の文化を比べて、違うところや同じところを見つけることができ、普段の生活では決して気づかない文化の違いについて知ることが出来ます。

実は、この Ethnicity の授業、様々な専攻の学生がいますが、教育学部の授業として扱われています。なぜ教育学部の授業なのかと言いますと、アメリカの学校機関には、生徒同士、教師同士にも多様性が存在します。様々な人種、国民、民族が一つの学級に存在しているため、学校の教師に文化の違いに対する知識や寛容性 (Tolerance) を教員免許状の取得条件として各州が設定しているからです。それゆえ、多文化教育が重視されており、生徒にも多様性に対する理解やそれに関する知識を身に付けさせることが目標とされています。このような、アメリカの教育の特色についていることができるという点もこの授業の一つの魅力だと思います。将来教員になったときに、この授業で学んだアメリカの文化に関する社会問題や教育事情を、教科書には載らない現実として伝えていき、グローバル社会に対応できる人材の育成に貢献していきたいと考えております。

@G-mac Championship

2月の中で個人的に最も印象に残っている出来事は G-mac Championship と呼ばれる陸上の大会です。この大会は、Reginal conference と呼ばれるもので、Mid West にある大学が集まる年に一度の大きな大会です。これまで4つほど陸上の大会を経験してきましたが、どの大会と比べても、規模や緊張感、熱気が全く違いました。これまでの陸上の大会は Invitational と呼ばれ、一つの大学がいくつかの大学を招待するという形で行われてきましたが、今回は連盟が主催となっているため、普段の大会よりも厳粛に行われました。



優勝したメンバーで撮った写真

私個人と致しましては、800m と DMR (Distance Medley Relay) に出場しました。DMR というのは、陸上トラックの中で行われる中距離リレーといった競技で、1200m, 400m, 800m, 1600m の合計 4000m を四人で各々がそれぞれの距離を走り、バトンでつないでタイムを競うというアメリカ独特の競技です。幸運にも一走に選出され、活躍の機会を得ることが出来ました。

チーム全体の結果としては、驚くことに、フィンドレー男子が1位を取ることが出来ました。もちろん、この成績は私だけの力だけでなく、他のメンバーの力によるものがほとんどですが、普段から辛い練習を一緒に乗り越えてきたということもあり、とてもうれしかったです。特に、最後のマイルリレーのときは、みんなで「Let's get oily!」という掛け声をかけて一体になって応援したことはいまでも忘れられません。本当に最高の時間を過ごすことが出来ました。これで室内陸上の大会はすべて終わりましたが、これからは屋外での大会が続きます。チームメイトと過ごすことが出来る時間をかみしめるとともに、その時間に感謝しながら頑張っていきたいと思います。

今月の報告は以上になります。来月は3月に開催される大きなイベントである International night について報告していきたいと思います。